

足底接触トランスデューサ

SS28LA

TSD111A

SS28A

BN-STRIKE-XDCR

被験者が歩く際の踵とつま先の接触を測定するためにこのトランスデューサを使用します。踵/つま先の接触データは、2つのアナログチャンネルに記録されます（1つのチャンネルは踵、もう1つはつま先の接触）。接触反応は、グラフ上にポジティブ波で表されます。2つの圧力センサー（FSR）は靴底に取り付けます；両足から記録するには2つのトランスデューサを使用します



踵/つま先ストライクの仕様

出力レンジ（増幅後）：	0～+10V
コンタクトフォース：	200g
取り付け：	TAPE1、TAPE2、ビニールテープ、ダクトテープ
FSR 寸法：	18.3mm（直径）×0.36mm（厚さ）、30cm ピグテールリード線
FSR 動作範囲：	12.7mm（直径）
ケーブル長：	7.6m
ケーブル長-BN-STRIKE-XDCR：	30cm
インターフェース：	SS28LA MP36/35 システム
	TSD111A HLT100C/MP150/100 システム
	SS28A TEL100C/MP150/100 システム
	BN-STRIKE-XDCR BN-STRIKE/MP150/100 システム

足底接触トランスデューサのキャリブレーション

BN-STRIKE、TSD111A、SS28LA、SS28A は、キャリブレーションが必要ありません。

各チャンネルで計測された圧力は、歩行時の踵/つま先の接触に関するタイミングをグラフに反映します。各接触時の振幅は、接触のした時点で計測された圧力を示します。この振幅値は圧力との正確な直線関係はありませんが、大まかな関係性を表せます。圧力が増加するにつれて振幅も増加します。正確な圧力の計測が必要な場合、重りを使用して大まかなキャリブレーションを実行する事で、小さな範囲で実行可能です。さらに、AcqKnowledge (TSD111A) もしくは BSL PRO (SS28LA) ソフトウェアを使用してチャンネル設定を行い、広い動作範囲にわたって踵/つま先接触センサを線形化できます。

RX111 交換用踵/つま先ストライクセンサ

足底接触トランスデューサのための交換用センサです。



注：型番で語尾に“A”が付いていない足底接触トランスデューサ（SS28L/TSD111）は、交換用センサがありません。交換品を注文する前に、取り外し可能なセンサか型番を確認してください。